

## 日霊神十寶祓

この度は日霊神十寶祓のお申し込みのご意志を賜り誠にありがとうございます。

2021年の大霊神顕現祭において五霊神（日霊神・月霊神・水霊神・金霊神・風霊神）が、実在するエネルギー場をもたらす神のおはたらきとして顕現されました。その五霊神のおはたらきのひとつが、日霊神となります。

十寶祓は、言霊学における七澤賢治元代表の師である小笠原孝次先生より受け継がれた御神札になります。

平安清明なエネルギー場をもたらす日霊神のおはたらきを、2023年2月22日の祭祀にてご参加の皆様とご一緒に予祝させていただきました。その予祝とともにお願ちらせていただいた御神札が、「日霊神十寶祓」です。  
また御神札には事前にアンパイアにおいて日霊神の祝詞構文の照射をおこなっております。

みなさまにおかれましては、ご自宅の神棚や清浄な場所にお祀りいただき、日霊神十寶祓とともに日霊神のおはたらきをお迎えいただければと存じます。  
五霊神の詳細についてはぜひ白川学館にご入門いただき、実践と理論の学びにおいてより深めていただけましたら幸いです。

[https://shirakawagakkan.jp/shirakawa\\_manabi/](https://shirakawagakkan.jp/shirakawa_manabi/)



【日霊神十寶祓のお取り扱いについて】

Q:自宅に神棚がありません。お札の設置はどのようにすればよいですか。

A:神棚の有無に関わらず、清浄な場所にお納めいただければと存じます。  
普段からもホコリなどがつかないように清潔に保っていただけますと幸いです。  
場所の指定も特にございませんが、人の往来が少ない落ち着いた場所などが望ましいです。

Q:自宅の神棚に設置したいのですが、お札の設置はどのようにすればよいですか。

A:一般的な神棚の場合は、特に指定の場所等はございませんので、  
ご自身の決めていただいた場所に置いていただいて結構です。  
白川学館の神棚の場合は、神棚と向かい合った位置から見ますと、右側にお納め致します。

Q:十寶祓は和紙で包まれていましたが、この和紙は剥がしたほうがよいですか。

A:一般的には、持ち帰る間に汚れないための包装紙として用いられた外紙だったようですが、現代では、お札を直接触るのは気が引ける、あるいは、御神名や神社名がそのまま見えるのは畏れ多いという方もいらっしゃる、和紙を巻いたままお祀りしている場合も多いようです。

和紙は、剥がされても、そのままの状態でお祀りして頂いても構いません。神のおはたらきに感謝と敬意のお気持ちで、過度に様式に囚われることなくお祀りいただければと考えております。

Q:離れにもう1軒家があります。2軒ある場合は、お札は2つあった方がよいでしょうか。

A:基本的にはお一人様（もしくは1家庭）1体を想定いたしておりますが、とくに制限を設けているものではございません。生活の環境に合わせて、ご判断いただきますようお願いいたします。

Q:十寶祓のサイズはどのくらいですか？

A:長さ 約23cm× 幅 約7cm ×厚さ 約0.5cm となっております。

Q:台座は付属していますか？

A:申し訳ございません。台座は付属しておりませんのでお手数ですがご自身で、ご用意のほどお願いいたします。「お札立て」でインターネット検索していただくか、お近くの神社等でお求めくださいますようお願いいたします。

Q:古くなった十寶祓はどのようにすればよろしいでしょうか？

A:お取り替えの時期というのは特にございませんが、気になるようでしたら白川学館にお送りください。然るべきタイミングでお焚き上げをさせていただきます。またその他、地域のどんど焼きにお持ちいただくか神社の古札納所にご相談いただければと存じます。白川学館にご送付の際には事前にご一報をいただけますと幸いです。

お客様サポートセンター

フリーダイヤル（無料）0120-653-106

受付時間：平日 10時～12時、13時～18時（土日祝日 年末年始の弊社休業日は除く。）

メール：[store@neten.jp](mailto:store@neten.jp)